

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	エフビー介護サービス株式会社	代表者	代表取締役 柳澤美穂	法人・事業所の特徴	<p>1.【個別ケア】ひとりひとりが歩んでこられた人生への理解と共感に基づき、自立支援を基盤としたケアを行います。</p> <p>2.【認知症ケア】認知症の正しい理解に基づき、ひとりの「人」としての尊厳を大切にして、安心して過ごせる居場所と関りを提供します。</p> <p>3.【看取りケア】穏やかな日々の暮らしの場で安らかな旅立ちが迎えられるように、さまざまな職種のスタッフが協力して、利用者様とご家族様に寄り添い支えます。</p> <p>4.【地域ケア】住み慣れた地域で安心して最期まで生活が送れるように、各組織や地域住民の方々との連携を図り支えます。</p>
事業所名	あったかほ一む桜花	管理者	小林孝章		

出席者(構成)	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	人	2人	人	1人	1人	人	2人	人	7人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<p>*コロナ禍で計画の取組みが思うようにできないが、引き続き改善計画については毎月の会議の中で内容を読み上げ意思統一を図る。また、途中経過についても評価して報告を行い、意見を出してもらう。</p> <p>*再度、自己評価については説明を行い内容・解釈の統一を図る。</p>	<p>*コロナ禍で改善計画の取組みが思うようにできなかった。また、内容についても毎月の会議で報告ができず意思統一が図れなかった。</p> <p>*自己評価については内容説明を行い統一して、全員の意見を聞いて取り組むことができた。</p>	<p>*【今年度も新型コロナウイルス感染症で外部評価を実施できなかったため意見の記載なし。】</p>	<p>*自己評価を全員に配付して改善計画の取組みを行う。</p> <p>また、改善計画内容を定期的に会議の中で読み上げ意思統一を図り、途中経過についても確認して意見を出してもらう。</p>
B. 事業所のしつらえ・環境	<p>*玄関や施設内の飾り付けに考えて、落ち着いた環境づくりを行う。</p> <p>また、コロナ状況を見ながら、小学校や保育園に呼びかけ、小学児童・保育園児の立ち寄れる環境づくりを行う。</p>	<p>*玄関にはプリザーブドフラワー等を飾り、施設内は観葉植物を置いて環境作りを行った。</p> <p>また、行事はコロナで中止となり、児童・園児の立ち寄りも地域の方に参加もして頂くことができなかったが、地区内は回覧板で施設新聞を廻してもらい、ブログ・インスタグラムで情報発信を行った。</p>	<p>*【今年度も新型コロナウイルス感染症で外部評価を実施できなかったため意見の記載なし。】</p>	<p>*玄関や施設内の飾り付けや落ち着いた居心地の良い空間作りを行う。</p> <p>また、コロナ状況を見ながら行事の計画及び回覧・ブログ・インスタグラム等で情報発信を行う。</p>

<p>C. 事業所と地域のかかわり</p>	<p>*引き続きコロナ禍で状況を見ながら、地域のイベントへの参加及び施設新聞や困りごとの相談など、回覧板で施設の様子を知らせ相談等も受ける。 また、地域公開講座やお茶会・夏祭り・イベントなど再開時には地域の方々に参加をしてもらい交流を深める。</p>	<p>*コロナ禍で、地域のイベント及び施設の行事も中止となり交流はなかったが、区の回覧板で施設の様子を知らせることができた。相談については電話ではあったが、直接来所してはなかった。 *2022年7月に地域の民生児童委員の集会で講演依頼があり施設の紹介等を行った。</p>	<p>*【今年度も新型コロナウイルス感染症で外部評価を実施できなかったため意見の記載なし。】</p>	<p>*コロナ禍で状況を見ながら、地域のイベントへの参加及び施設の行事を計画して地域の方々に参加をしてもらい交流を深める。引き続き、回覧板で施設の様子を知らせ相談等も受ける。</p>
<p>D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取り組み</p>	<p>*ご家族及び訪問時やケア会議などで、近所・民生委員の方から情報をもらって共有をし、更に社協・地域包括支援センターと連携を図って取り組んでいく。 *コロナ禍で状況を見ながら地域の行事やイベントの情報収集をし、スタッフの勤務調整をして参加をする。</p>	<p>*コロナ禍で、訪問時など直接近所の方との接触がなかったが、地域包括支援センターや民生委員とは必要時に電話等で情報共有を行うことができた。 *地域の行事やイベントも中止になったため情報収集や参加もできなかった。</p>	<p>*【今年度も新型コロナウイルス感染症で外部評価を実施できなかったため意見の記載なし。】</p>	<p>*近所・民生委員の方から情報をもらって共有をし、更に地域包括支援センターと連携を図って取り組んでいく。 *コロナ禍で状況を見ながら地域の行事やイベントへの参加及び外出等を行う。</p>
<p>E. 運営推進会議を活かした取り組み</p>	<p>*コロナ禍で状況を見ながら、運営推進会議開催時はスタッフにも交替で出席してもらおう。 また、新しい委員もいるので施設見学や状況報告及び課題等についても検討をしていく。</p>	<p>*コロナ禍で、運営推進会議の開催が中止となり、新しい委員に施設見学やスタッフの出席もできなかったが、状況報告は紙ベースで報告、課題等については意見がなかった。</p>	<p>*【今年度も新型コロナウイルス感染症で外部評価を実施できなかったため意見の記載なし。】</p>	<p>*コロナ禍で状況を見ながら、施設での運営推進会議の開催を検討、スタッフにも交替で出席してもらおう。 新しい委員には来所時に施設見学をして頂く。</p>
<p>F. 事業所の防災・災害対策</p>	<p>*毎年災害訓練（噴火・風水害・地震等を想定）及び災害時等の非常食の備蓄状況を確認する。 また、消防訓練は年2回実施、うち1回は夜間想定をした緊急連絡網で連絡を行うようにする。（区長・消防団・推進委員等にも参加していただく）</p>	<p>*コロナ禍であったが、5月・11月に災害訓練及び4月・10月に消防訓練を実施し、夜間想定 of 緊急連絡も行った。 また、自家発電機を設置及び操作方法について説明も行った。 *市の消防署からの指導は10月の1回、コロナ禍で地域の消防団・推進委員・施設近隣への要請はしなかった。</p>	<p>*【今年度も新型コロナウイルス感染症で外部評価を実施できなかったため意見の記載なし。】</p>	<p>*年2回災害訓練（噴火・風水害・地震等を想定）、非常食備蓄状況の確認・自家発電機の操作説明及び消防訓練を実施、うち1回は夜間想定をした緊急連絡網で連絡を実施する。（コロナ禍で状況を見ながら区長・消防団・推進委員等にも参加して頂く）</p>